

2022 年度 服飾奨学金事業
生活状況報告（中間報告）

2022年度服飾奨学生13名の受給期間における生活状況について下記の通り報告いたします。

1. 主な学生生活の状況（学業、部活など）

・学業では成績をキープし、優秀な学生として大学で表彰されました。自分が興味のある分野の授業をできるだけ多く取り、自分の技術や知識を深めるよう努めています。授業内の課題や個人の製作活動では自分が納得できるクオリティーの完成度を目指して作成しています。

・直近では6月18日に実施された秘書検定の2級に挑戦し、合格を果たせました。社会では当たり前のマナーや一般常識、就職活動に役立つ知識を学ぶことができ、なんとなく知っていることや、聞いたことはあるが意味を知らなかったこと等を知る良い機会となりました。

・昨年は習得できる全ての資格の3級を取得したのですが、2級になると受験料や教材の価格も上がり、今年度は受験を諦めていました。そんな時に、日本へいわ財団様が奨学金にて支援をしてくださったおかげで、学びたいことが学べるようになりました。長期休み期間も日々勉強に励みたいと思います。

・学校では多様なヘアメイク、コーディネート撮影を経験でき、日々勉強を楽しんでいます。

ときにはケーススタディという授業にて学外にヘアメイクをしに行きました。

また、テレビ局やミスコンなど、実際の現場の雰囲気を体験する貴重な場でした。

そこで取り入れたものを更に活かしています。

・1年生とは全く違い、より専門的になってきて将来に向けてスタイリストにとって必要となる知識や経験を学び頑張っています。実際にスタジオがあり、撮影の基礎から学べたり撮影するにあたっての大変さ、時間との勝負だったり普通だったら経験できないことを沢山学んでいます。どんどん自分の中で知識も増えていき嬉しいです。グループ活動が増えてきたり、沢山の人の関わることが多くなりました。相手のことを考えながら行動すること、これを忘れず過ごしていきたいです。

・4月から新しい学年が始まり、6月16日と17日にあった学校の前期最大の制作発表の機会のプレタポルテ展で個人賞として優秀賞をいただきました。さらに私が企画立案させていただいたブランド企画のチームの中から私を含めて4名、合計7つの賞をいただきました。

2.主な奨学金使途

・学費や教材費や交通費、作品課題費に利用させていただいております。

今年度からは、就職活動の為の宿泊費にもお世話になりました。

・教材費（日々の授業で使用する模造紙やシーティング等の購入としても使用しました。）

・定期代（実家と学校が遠く6ヶ月の学生定期が8万円を超えるので定期の購入費用の助けになっています）

・私の家庭は片親なため、生活費や学費で余裕がある生活ではありません。夜間や専科を取っているため、学費にとってもお金がかかってしまうのでその面で今回の奨学金を回しています。他にも学校でも授業で必要なものが多いので、そのような面でも活用させてもらっています。

・一人暮らしをしているため生活費や、服制作の際の材料費に充てています。

・主に家賃などの生活費に当てています。この奨学金のおかげで、引っ越すことができ、時間を有効活用できるようになったため、今までは時間がなくてできなかった活動にも参加できるようになったのが最も私にとってありがたい変化です。時間の大切さをより実感することができました。また、電車の定期代などに使っていた分のバイト代を、作品作成の材料費（布代）などに回せるようになったため、より制作に力を注げるようになりました。

・3年生になり、大学の授業での制作活動が多くなったため、作品の材料費がかなり増額しました。そのため、こちらでいただいた奨学金は材料費に多く使わせていただいています。授業外では製作に割く時間がかかなり多く、アルバイトをする時間があまりないためこの奨学金はかなり有難いです。材料費に悩むことがないため、製作が伸び伸びとできるようになり、自身が納得のいく完成度で課題を作り上げることができております。

・服装学生として、学校生活に必要な生地、糸、針など服を作るのに必要な副材料、教材費等を買うのに使いました。

おかげさまでいろんな生地を使っていろいろな知識を得ることで未来に一步先立つことができる重要な勉強になりました。

生活費にもたくさん役に立ち、最近、無給インターンシップ活動を気楽にできるようになりました。

3.来年度、積極的に取り組むこと

・来年度は4年生になり、卒業制作の時期になります。この3年で自身が何に興味・関心があり、何を大切にしているのか、これからどうしていきたいのかが明確になっていきました。その集大成を卒業制作や卒業論文で表現していきます。自分が培ってきたものを生かし、今後の糧になるような作品を作っていきたいと思います。

・来年度、私は就職活動に励みたいと考えています。現時点では志望業界が定まっておらず、自己分析や就職活動の準備を進めながら企業研究に務めていますが、今年の秋頃には志望業界を絞っていきたいです。

・デザイナー職に就けるように、様々なディテールを学び自分の作品にユニークな発想のデザインを落とし込めるようになりたいと思います。そして何より、素材に詳しくなれるように、素材のメリットデメリットを理解するだけでなく、実際に生地を手に取り自分なりに感想をもちたいと思います。授業には誰より真剣に取り組み、成績トップを目指します。無欠席も心掛けたいと思います。

・来年度から、私の学科では3つのコースに分かれてより深く自分の学びたいことについて勉強できるようになります。来年度のメインは子のファッションシーの制作であると思います。まずは、デザイン案を今年の夏から考え出すため、そこでデザイン画が選ばれるように素敵な案を考えます。次に、決まったデザイン案の衣装製作がメインに、モデルへのスタイリングなどを実際のファッションショーを通して学びたいです。

・私は学校を卒業後パタンナーとして働きたいと考えており、来年度を含め今後残りの学生生活はパターンの技術と知識を身に付けることを一番の目標としています。そして、技術や知識を身に付けるには、パターンを多く引いて経験を積み学ぶことが大事だと考えています。来年度は授業でもパターンの授業が増えるとは思いますが、授業以外でも自分でデザインをした服のパターンを引いて、服を作る経験を多くしていきたいと思っています。また、来年度からはCADの授業が始まるため、CADの操作法や現場での実際の使用方法を身に付けたいと思います。そして今は、スタンダードな形の服を作ることが多いですが、個々のパーツそれぞれに形の種類が多くあるので、その引き方を学んで組み合わせることで、作れる服の幅を広げていきたいと思っています。

・来年度からは社会人の一員として学校の名に恥じぬようプロとしてファッションの楽しさ、素晴らしさをより多くの人に伝えられるよう日々努力したいと思います。また、小さい頃からの夢であった「自分の好きなことでたくさんの人を笑顔にする」ということを自分の好きなファッションを通して叶えていきたいと思っています。

4.その他

・10月に地元亀岡市が主催するかめおか霧の芸術祭の一環である城跡芸術祭に招聘していただけたので精一杯良い作品を作って展示できるように頑張ります。同じく10月にイタリアでカプセルコレクションをさせていただけることになったので精一杯頑張りたいと思います。

・人生最後の学校生活も残りわずかとなったのでプロになるため、友達や先生とより一層ファッションを楽しみ、学びたいと思います！

・奨学金をいただきまして、誠にありがとうございます。奨学金をいただけたことで、より学びに積極的に取り組むことができます。今後も目標を達成するために、今自分がやるべきことを考え行動に移していく所存です。

・この奨学金によって、金銭面的に支えてもらっているのはもちろんですが、それによって時間を有意義に使えるようになったことにつながり、大学生活を豊かなものにする事ができています。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

・奨学金での支援にとっても感謝しています。支援をしてくださったおかげで有意義な学校生活を送れています。

今後も努力を怠ることなく、将来はファッション業界に大きく貢献できる人間になりたいと思います。本当にありがとうございます。

・日本学生支援機構の給付奨学金をいただいているのですが、今年から親の収入の区分が変わり、いただける奨学金がかなり減額してしまいました。それでも私の家は低収入な上に片親であるので、学費や課題のための材料費のことでかなり不安になっていました。しかしこの奨学金を今期いただけることになり、とても安心して学業に専念することができました。

・半年間の奨学金で本当に助かりました。一人で留学生活において様々な出来事がありましたが周りの環境といい機会であったのでここまで来たと思います。

これからもっと一生懸命前に進むつもりです。

以上